

日比 Joint Seminar と減災ポケット「結」プロジェクトを実施しました(2017/6/5-8)

テーマ：自然災害, 減災教育
場所：カリボ パナイ島 フィリピン

2017年6月5日(月)から8日(木)にパナイ島カリボで Philippines and Japan Joint Seminar が開催され、当研究所の保田真理プロジェクト講師(寄附研究部)が参加しました。カリボは2013年台風ヨランダが来襲した時に大きな被害を受けた場所です。また、年間に約20もの台風が通過する地域でもあります。現地で災害対策を行なっている MDRRMO と JICA 海外青年協力隊の要請を受けて、日本の防災対策と防災教育に関する講演を行いました。フィリピンからはタナウアン、アルバイ、バギオなど各地から参加者が集まりました。ア克蘭州の防災担当者、赤十字の防災教育担当者らからフィリピンでの現状の紹介もありました。保田プロジェクト講師は、防災教育を推進する効果的なプログラムの組み立て手法と教育サポートツールに関して講演とワークショップを実施しました。特に東日本大震災の教訓と2013年ヨランダ直後からの災害科学国際研究所の調査チームの活動紹介、教育サポートツールの紹介にはフィリピン関係者の関心が高く、ハード対策のみならず、ソフト対策との両輪の活動の大切さには多くの共感の声が寄せられました。地元新聞とテレビ局との記者会見も行われました。



セミナーでの講演の様子



YUIプロジェクトの集合写真



ア克蘭州立大学での出前授業の様子



カリボ市長からセミナー参加に対する謝辞